Panasonic

パナソニックコンピューター

AL-N1

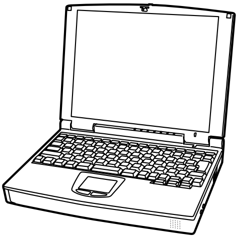
セットアップガイド（Windows 95用）

Let's note

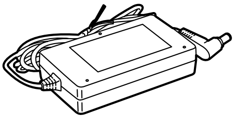
梱包物の確認

下記のものがすべてそろっているか確かめてください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

本体

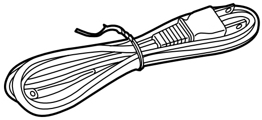


AC アダプター

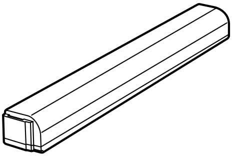


品番：AL-AA170

AC コード

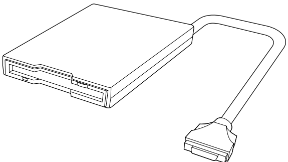


バッテリーパック（2本）



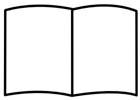
品番：AL-NFBL010J

外付け フロッピーディスクドライブ



品番：AL-NFFE010J

取扱説明書

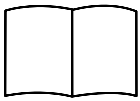


その他の印刷物

●保証書
●ご相談窓口のご案内
●ご愛用者登録カード／ソフトウェアサポートカード
● Windows95 セットアップディスクラベル
●マイクロソフト社のユーザー登録カード

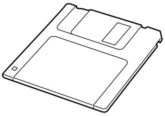
セットアップガイド

（本書）

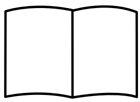


フロッピーディスク

保存ディスク



Microsoft Windows95 ファーストステップガイド



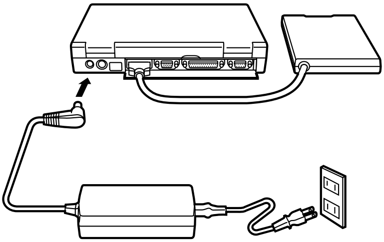
はじめかた・終わりかた

本機には、Microsoft® Windows®95（以降 Windows）があらかじめインストールされています。ここでは、初めて電源を入れてWindowsの操作に入るまでの手順を説明します。

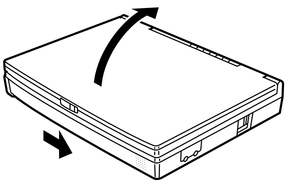
はじめかた

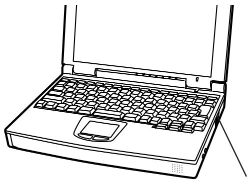
1. AC アダプターを接続する。

付属の専用ACアダプター (品番：AL-AA170) を使用してください。それ以外のACアダプターや市販のカーアダプターなどは絶対に使用しないでください。
コンピューター本体に AC アダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。(本体に AC アダプターを接続しないときでも AC アダプターは約 2.5W の電力を消費しています。)



2. ディスプレイを開けて、電源を入れる（電源スイッチを押す)。





参考

フラットパッドおよびマウスの基本的な操作は以下の通りです。

クリック :	左または右ボタンを押して離す。また、左クリックはフラットパッドを1回軽く叩くことでもできます。
ダブルクリック :	左または右ボタンを続けて2回すばやく押して離す。また左ボタンのダブルクリックは、フラットパッドを続けて2回軽く叩くことでもできます。
ドラッグ :	左または右ボタンを押したまま、フラットパッドを操作する。 また、左ボタンでのドラッグは、フラットパッドを続けて2回軽く叩き、2回目に叩いたときにそのまま指を移動させ、目的の場所でフラットパッドを1回叩くこともできます。

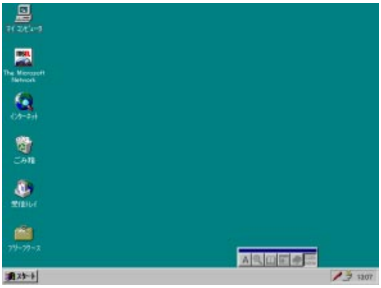
２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。
通常は左ボタンで操作します。右ボタンを押すとショートカットメニューが表示されます。

3. Windows95 のセットアップを行う。

（初めて起動したときのみ）

以下の手順に従って操作してください

1. 「ユーザー情報」画面が表示されます。名前と会社名を入力し、「次へ」をクリックしてください。
2. 「使用許諾契約書」画面が表示されます。内容をよく読んだ後、同意する場合は「同意する」の左横の◯をクリックし、さらに「次へ」をクリックしてください。
3. 「Certificate of Authenticity」画面が表示されます。付属の『ファーストステップガイド』の表紙の「Certificate of Authenticity」に記入されている番号を入力し、「次へ」をクリックしてください。
4. 「ウイザードの開始」画面が表示されたら、「完了」をクリックしてください。
5. 日付と時刻を設定する画面が表示されます。日付と時刻を設定して「閉じる」をクリックしてください。
6. プリンターを設定する画面が表示されます。プリンターを接続している場合は「次へ」をクリックし、画面の表示にしたがってプリンターを設定します。接続していない場合は、「キャンセル」をクリックします。
7. 「Windows95 へようこそ」画面が表示されます。「閉じる」をクリックすると下のような Windows の画面が表示されます。



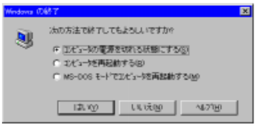
終わりかた

1. スタートボタンをクリックし、［Windows の終了］をクリックする。

MS-DOS モードに入っている場合には、まず、「EXIT」と入力して MS-DOS モードを抜けてからスタートボタンをクリックしてください。

2. ［はい］をクリックする。

しばらくすると自動的に電源が切れます。



お願い

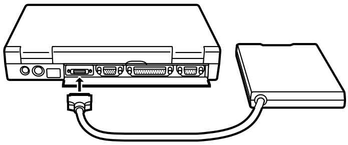
電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。

システムディスクの作成のしかた

◆システムディスクについて

ハードディスクの内容が消えてしまったときなど、再インストールを行う必要が起こったときのために、必ず、システムディスクを作成しておいてください。

まず、フォーマット済みのフロッピーディスク (2HD) を準備してください。必要な枚数は、「Create System Disks」の［作成するディスクセットの選択］画面に表示されます。



1. 外付けフロッピーディスクドライブを取り付ける。

2. ディスプレイを開けて、電源を入れる。

Windows の画面が表示されます 。

3.「Create System Disks」を起動する。

システムディスクを作成していない場合は、Windows を起動すると、指定された起動回数ごとに（標準は５回に１回）「Create System Disks」の画面が表示されます。Windows95 の初期画面から「Create System Disks」を表示させるには、スタートボタンをクリックし、［プログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを置き、［Create System Disks］クリックします 。



参考

システムディスクの作成は１回のみ可能です。

4. Windows95 のシステムディスクを作成する。

『次へ』をクリックすると、「作成するディスクセットの選択」画面が表示されます。「Microsoft Windows95 セットアップディスクセット」を選択し、画面の指示に従いながら、Windows95 のシステムディスクを作成します。

お願い

あらかじめ、付属のWindows95用のラベルをフロッピーディスクに貼っておいてください。

5. 各種ユーティリティプログラムのバックアップを作成する。

「作成するディスクセットの選択」画面で、「各種ユーティリティプログラムのバックアップ」を選択し、画面の指示に従いながら各種ユーティリティプログラムのバックアップを作成します。

お願い

画面に表示されるフロッピーディスクの名称（ユーティリティディスクなど）を、ラベルに書いてフロッピーディスクに貼っておいてください。

6. 各種アプリケーションのバックアップの作成。

Nifty ManagerやMS-IME97などプリインストールされているアプリケーションのバックアップを作成します。作成方法については、［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［補足説明］を参照ください。

環境の設定

ここでは、初期環境の再インストールについて説明します。
コンピューターの動作環境の設定は､ユーティリティプログラム WSETUPN1 （[スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［WSETUPN1］で起動します）で行います。
内容は「取扱説明書」を参照してください。

初期環境を再インストールする

Windows などは、あらかじめハードディスクにインストールされていますが、ハードディスクが壊れたり､内容を消去してしまった場合､以下の手順に従って､再インストールすることができます。
再インストールの際には、フロッピーディスクを使用しますので、あらかじめ、外付けフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください｡また､はじめて起動したときに作成したシステムディスクを使用しますので、準備してください。

お願い

再インストール中は、電源を切ったりサスペンド状態にならないようにしてください。

参考

再インストールを行っても、ハードディスクの内容すべてを、初期状態にもどすことはできません。一部のプログラムは再インストールされません。

1. Windows95 をインストールする。

あらかじめ作成しておいた｢セットアップ起動ディスク｣をフロッピーディスクドライブにセットし、コンピューターを再起動します。

1. 「キーボードのタイプを判別します」のメッセージが表示されたら、[半角／全角（漢字)］キーを押してください。
2. 「セットアップへようこそ｣画面が表示されます｡画面に表示されるメッセージに従って、フロッピーディスクを入れ替えながらインストールします。
3. 「セットアップディスク -3」のインストール中に､「コンピュータの調査」画面が表示されます｡「サウンド､MIDI､またはビデオキャプチャーカード」の左側の□をクリックしてチェックマークを付けてから「次へ」をクリックします。
4. ｢Windows ファイルの選択｣画面が表示されたら､｢インストールするオプションファイルを選択する」の左側の○をクリックして｢次へ｣をクリックします。
   「インストールするファイルの選択」画面が表示されますので、必要なアプリケーションを選択してください。
   「ディスク管理ツール」→「バックアップ」は各種アプリケーションのインストールに必要ですので、必ず選択してください。
   選択が終わったら、「次へ」をクリックしてインストールを続けます。

お買い上げの設定にするには各項目を次のように設定してください。

項目	設定値
インストールするディレクトリ	C：￥WINDOWS
セットアップ方法	標準
ラージディスクサポート	使用しない　＊1

参考

＊1 ラージディスクサポートに関して
Windows95 のインストールや FDISK 実行の際、ラージディスクサポートを有効にするかどうかの選択が表示されることがあります。
ラージディスクサポートを有効にすると、AL-N1 のハイバーネーション機能が動作しなくなります。また、以前のバージョンの Windows などで作成したフロッピーディスクから起動した時、ハードディスクの内容が読めなくなります。出荷状態では、ラージディスクサポートを使用しないように設定してあります。

2. Windows95 の最終設定をする。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行（R)」をクリックします。
3. 「名前（O)」に「A：\RESTWIN」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。
4. DOS ウインドウのタイトルバーに「完了－restwin」と表示されたら右上の「×」マークをクリックして DOS ウインドウを閉じてください。
5. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク」を抜きます。
6. 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了（U)」をクリックします。
7. 「コンピュータを起動する（R)」を選択して「はい（Y)」をクリックします。

3. PC カードを使用できるように設定する。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S)」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C)」をクリックして、「PC カード（PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。
3. PC カード（PCMCIA）ウィザードが起動したら指示に従って設定を行います。

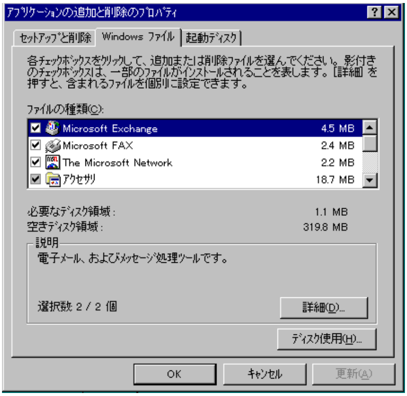
4. ビデオドライバーのインストールと画面の設定を行う。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
3. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「画面」アイコンをダブルクリックします。
4. 「画面のプロパティ」ウインドウの「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ（A）」をクリックします。
5. 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウインドウの「アダプター」タブをクリックし、「変更（C）」ボタンをクリックします。
6. 「デバイスの選択」ウインドウの「ディスク使用（H）」ボタンをクリックします。
7. 「配布ファイルのコピー元」が「A : \」であることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
8. 「Chips and Tech. 65550 PCI」が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。（ドライバーのコピーが行われます。）
9. 「ディスプレイの詳細プロパティ」ウインドウの「モニター」タブをクリックし、「変更（C）」をクリックします。
10. 「モデル（D）」 の中から「Super VGA 1024 × 768」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。
11. 「閉じる」 ボタンをクリックします。
12. 「画面のプロパティ」ウインドウの「カラーパレット（C）」で「High Color（16 ビット）」、「デスクトップ領域（D）」で「800 × 600 ピクセル」を選択し、「閉じる」ボタンをクリックします。
13. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク」を抜いて、「システム設定の変更」ウインドウの「はい（Y）」をクリックします。

5. 各種ユーティリティプログラムのインストールする。

「WSETUPN1」プログラムや補足説明等のユーティリティファイルのインストールを行います。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をセットします。
2. ［スタート］ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
3. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウインドウの「Windowsファイル」タブをクリックします。



5. 「ディスク使用（H）」ボタンをクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A：\」であることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
6. 「AL-N1ユーティリティプログラム」の左の□をクリックし、チェックマークを付けてから「インストール」ボタンをクリックします。

6. 1.2 M バイトのフロッピーディスクの読み書きができるように設定する。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
3. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「ハードウエア」アイコンをダブルクリックします。
4. 「ハードウエアウィザード」ウインドウで「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「いいえ」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「ハードウエアの種類（H）」の中の、「フロッピーディスクコントローラ」をダブルクリックします。
7. 「ディスク使用（H）」ボタンをクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A：\」であることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。。
8. 「パナソニック3モードフロッピーディスク（AL-N1シリーズ）」が表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「完了」ボタンをクリックします。
10. フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク」を抜いて、「システム設定の変更」ウインドウの「はい（Y）」をクリックします。

7. サウンドドライバーをインストールする。

1. フロッピーディスクドライブにあらかじめ作成しておいた「ユーティリティディスク」をセットします。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。

3.「コントロールパネル（C）」をクリックして、「システム」アイコンをダブルクリックします。
4.「システムのプロパティ」ウインドウの「デバイスマネージャー」タブをクリックします。
5.「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックします。
6.「ESS ES1488 AudioDrive」をダブルクリックします。
7.「ESS ES1488 AudioDriveのプロパティ」ウインドウの「ドライバ」をクリックして、「ドライバの更新 (U)」ボタンをクリックします。
8.「次へ」ボタンをクリックします。
9.「ESS ES1488 AudioDrive」が表示されていることを確認し、「完了」ボタンをクリックします。
10.「OK」ボタンをクリックします。
11.「ファイルのコピー元」に「A:\」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。
12.フロッピーディスクドライブから「ユーティリティディスク」を抜いて、「システム設定の変更」ウインドウの「はい（Y）」をクリックします。

8. 赤外線通信ポートを設定する。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定（S）」にポインタを置きます。
2. 「コントロールパネル（C）」をクリックして、「ハードウエア」アイコンをダブルクリックします。
3. 「ハードウエアウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。
4. 「いいえ」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
5. 「ハードウエアの種類（H）」で、「赤外線」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
6. 「赤外線デバイスウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 「製造元（M）」で「(スタンダード赤外線デバイス)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
8. 「一般の赤外線シリアルポート（ＣＯＭ２）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. 「標準のポートを使用」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。（赤外線通信ドライバーがセットアップされます。WindowsのDiskを挿入するメッセージが表示されたら指示に従ってください。）
10. 「完了」ボタンをクリックします。

9. 各種アプリケーションをインストールする。

[スタート] → [プログラム] → [Panasonic] → [補足説明] を参照してください。

本体仕様

機種		AL-N1T515J5
CPU		Pentium™ 150MHz
メモリー	メイン RAM	標準：16M バイト（EDO）、最大：48 M バイト（32 M バイト DIMM 装着時）
	外部キャッシュ	256 k バイト（パイプラインバースト SRAM）
	ROM	128 k バイト
	ビデオメモリー	1 M バイト（EDO）
ハードディスクドライブ		1.35 G バイト
表示機能	テキスト表示	80 文字× 25 行
	グラフィック表示	解像度：800 × 600 ドット
		色数：65536 色
	漢字表示	日本語 40 文字× 25 行
入力装置	キーボード	総数 88 キー
	フラットパッド	静電容量方式、タッピング機能付き
インターフェース	プリンター	セントロニクス準拠 D-sub 25 ピン
	RS-232C 規格	RS-232C D-sub 9 ピン
	拡張キーボード マウス テンキーボード	PS/2 タイプ
	EXT, DISPLAY	アナログ RGB D-sub 15 ピン
	音声	マイク入力（MIC ミニ M3）× 1 ヘッドホン出力（PHONES ミニ M3 32 オーム 0.24 mW）× 1
	赤外線通信ポート	IrDA-SIR 準拠、最大 115.2kbps
カードスロット	PC カード専用	タイプ II × 2 スロット　または　タイプIII× 1 スロット （5 V で 600 mA *1 ／ 12 V で 100 mA*1）
	RAM モジュール専用	1 スロット
オーディオ機能		PCM 音源（Sound Blaster 互換）FM 音源　スピーカー搭載
時計機能		クロックバッテリーバックアップ　月差± 60 秒
電源	入力	AC アダプター 15 V（入力 AC100-240 V、50/60 Hz） バッテリーパック 10.8 V（Li-Ion）
	消費電力*2	約 26W（約 22W*3）
バッテリー稼働時間		標準約 2.8 時間
外形寸法（幅×奥行×高さ）		255 × 192 × 41 mm
質量		1.47kg（1.62 kgバッテリー 2 本のとき）
使用環境条件		温度：5〜35 ℃　湿度：30〜80 %RH（結露なきこと）
導入済みソフトウェア		Microsoft Windows95、 Microsoft Internet Explorer3.0、 Nifty Manager、各種ドライバーなど
フロッピーディスクドライブ		外付け 1 ドライブー 3.5 インチ（1.44 M/1.2 M/720 k バイト）

RAM モジュール（DIMM）は、ファーストページモード及びセルフリフレッシュのメモリを使用したモジュールに限り使用できます。

ハードディスク・ドライブの容量は 1G バイト＝ 10^{9} バイト表記です。

***1** 2 スロット合計の許容電流です。

***2** 動作中の最大消費電力です。

***3** 電源オフ時、バッテリー充電中の表記です。
（電源オフ、バッテリー充電終了時 、AC アダプターは約 2.5W の電力を消費しています。）
また、電源オフ時、バッテリーの消費電力は約 80 mW です。

松下電器産業株式会社　情報周辺機器事業部
〒570 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号　TEL (06)908-1001

F0197-0
ITT0313AA